



【典礼部だより】ミサ曲について③～「感謝の賛歌（サンクトゥス）」～

「感謝の賛歌（サンクトゥス）」は、**奉献文**（エウカリスティアの祈り）の一部です。

「え、**奉献文**って、**神父様**の唱える祈りなのでは？」と思われる方も多いかと思いますが、**叙唱前**の対話句（主は皆さんとともに／またあなたとともに……）～**叙唱**～**感謝の賛歌**～**奉献文**～**記念唱**（信仰の神秘／主よ、あなたの死を……）～**栄唱**（キリストによってキリストとともにキリストのうちに……／アーメン）がひと続きの「**奉献文**（エウカリスティアの祈り）」であり、わたしたちは**神父様**の唱える部分（**叙唱**）はしっかり聴き、**栄唱**部分ははっきり唱え、**賛歌**は懸命に歌うという形で心を一つにし、祈っているのです。

昔の**祈禱書**や**ミサ曲**では、「**感謝の賛歌**（**サンクトゥス**）」の前半部分が**Sanctus**（ラテン語で「**聖なる**」）、後半部分が**Benedictus**（ラテン語で「**祝福があるように**」）と別の表題でした。**Sanctus**部分は、旧約聖書「**イザヤの預言**」の**イザヤ**が召し出されるシーンで、**セラフィム**（**天使**）が唱えることばです。

かれ たが よ か と
彼らは互いに呼び交わし、唱えた。
せい せい せい ばんぐん しゅ しゅ
「聖なる、聖なる、聖なる万軍の主。主の
えいこう ち おお
栄光は、地をすべて覆う。」（イザヤ6・3）

「感謝の賛歌（サンクトゥス）」～

ミサ曲で旧約聖書からのことばはここだけです。「**聖なる**」を3回繰り返すことから、この祈りは**東方教会**で「**聖三祝文**」と呼ばれて**ミサ**以外でもよく用いられ、**カトリック教会**でも**聖金曜日**の祭儀で使われることがあります（**典礼聖歌集** 334「**ハギオス・ホ・テオス**」）。

一方、**Benedictus**部分のことばは、つい3週間ほど前、**枝の主日**で朗読された「**マタイによる福音**」の**イエス様**の**エルサレム入城**の場面からとられています。

おおぜい ぐんしゅう じぶん ふく みち し
大勢の群衆が自分の服を道に敷き、
また、ほかの人々は木の枝を切って道に敷いた。そして群衆は、イエスの前を行く者も後に従う者も叫んだ。
「**ダビデの子**に**ホサナ**。主の名によって来られる方に、**祝福**があるように。いと高きところに**ホサナ**。」（マタイ21・8-9）

よげんしゃ いざやを め だ しゅ たた
預言者**イザヤ**を召し出した**主**を称えることばと、到来した**救い主**を称えることば、旧約・新約2つの**賛美の祈り**が一つになった「**感謝の賛歌**（**サンクトゥス**）」は、**奉献文**（**エウカリスティアの祈り**）で声を合わせて歌うのに**誠**にふさわしい**賛歌**だと言えるでしょう。

典礼部／〇〇〇〇 監修：ルスニ神父・シスター今田

【イベント情報①】

●**真生会館春講座** **キリスト教の典礼を知る**

日時：4/17、5/15、6/19 14:00～15:30

場所：真生会館、Zoom併用・見逃し配信あり

受講料：1回1,200円

『**聖書と典礼**』編集長、元上智大学

神学部非常勤講師の石井祥裕氏を

講師に典礼の歴史と今を学ぶ講座。

リモート受講が可能です。



【執行部より】教会規約改正の必要性について

現在、私たち水戸教会では、教会規約の見直しと改正に向けた検討を進めております。

その背景としては、現行規約と実際の教会運営の姿との間に、少なからぬ乖離が生じているという課題があります。具体的には、各活動部会の組織としての位置づけ、教会委員会の組織と構成、執行部会の構成と役割、などが現状と規約で異なっている状態です。

教会運営の実働を担う各活動部会、方針決定に貢献する教会委員会、全体の調整役であり便宜上代表役を務めている執行部会などの規約上の根拠があいまいなままでは、それぞれの活動を有機的につないでいくことが難しく、教会本来の使命である福音宣教や

信仰共同体の形成もおぼつきません。また、社会的な信頼性や透明性を確保できず、銀行をはじめとする外部機関からの要請に対して適切に答えられない可能性も出てきます。

今回の規約の見直しは、「まず現状と規約の矛盾をなくそう」というものです。そしてそれは、私たちのすべての活動が「福音を生き、伝える」という共通の目的のもとに整えられることを目指した第1歩でもあります。

規約は単なる文書ではなく、信仰共同体の姿を表す大切な基盤です。今回の見直しは、水戸教会のこれからの歩みをより確かなものとする機会となるよう、皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。執行部/〇〇〇〇

【日本カトリック女性団体連盟（日カ連）】

日本カトリック女性団体連盟は、いのちを大切にす文化を日本社会に根付かせるために2000年から「いのちを守る運動基金」活動を開始し、日カ連に加盟する全国のカトリック女性信徒によって募金活動を行っています。

そして集めた募金を日カ連理事会で選定したNPO（命の危機にさらされている人々を支援する団体）などに寄付し祈りとともに支援しています。全国15か所。

以前はDV被害者支援が対象でしたが、今は社会情勢を鑑み、戦争や紛争、さまざまな事情で日本に避難してきたものの難民認定が受けられず、仮放免やオーバーステイに

いのちを守る運動について

なった命の危機に瀕している外国の方々も対象となりました。

そこでマイケル神父様が長年にわたり支援活動をしている「牛久友の会」、長澤助祭率いる「北関東無料医療相談会」を推薦し、今年度よりいのちの基金をいただけることになりました。茨城カトリック女性の会を通してこの2つの団体と以前から支援している「ウイメンズネットらいず」3つの団体に20万円ずつが支援されますので、皆様どうぞご支援をお願いいたします。機会をみて募金を呼びかけますのでご協力をお願いいたします。

日本カトリック女性団体連盟 副会長 〇〇〇〇

【イベント情報②】

●名著誕生展 ヴァチカン教皇庁図書館Ⅲ+

日時：4/25～7/20 10:00～18:00（月曜休）

場所：印刷博物館 一般1,000円～

ヴァチカン教皇庁図書館共催の、人類の知の歩みを追体験する展示



●2026 額田のマリア祭

日時：5/24 11:00～14:00ころ

場所：カトリック那珂教会

カレー、焼きそば、子どもコーナー、古着、日用雑貨、コーヒーなどの出店があります。